

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 吉松新宮

作成日: 令和 4 年 12 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナウイルス対策の為、運営推進会議は休止している。コロナ収束後の対面での開催再開に向けて、委員とコミュニケーションを図り関係の継続に努めていく。また、ホームの運営だけでなく、地域の課題にも一緒に取り組んでいけるような会議運営への準備を進めていく。	感染状況をみながら、対面での開催が出来ない場合には書面で開催していく。また、元家族や地域住民、他グループホーム管理者等、委員の増員を図り、テーマを決めてミニ勉強会を行う等して内容の充実を図り、多様な意見や提案が集まる活発な会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	職員が少ない夜間想定 of 訓練に力を入れて取り組み、夜勤者が各ユニットに1人の状態で利用者全員を避難誘導できるよう繰り返し行っていく。	夜間想定に加え、地震や水害、台風を想定した備えや避難方法について全職員で確認する機会を設けていく。また、近所に住む職員や近隣住民との協力体制の確認も行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。